

組合員のみなさまへ



高知県農業協同組合
代表理事組合長 秦泉寺 雅一

ご あ い さ つ

組合員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は当組合の事業運営に格段のご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝とお礼を申し上げます。

はじめに、高知地区の購買事業における不正行為、仁淀川地区の共済事業および信用事業における不正行為、土長地区における食品製造の不正行為等の不祥事の発生につきましては、組合員の皆様をはじめとする多くの方々にご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

当組合は相次ぐ不祥事の発生を受け、令和3年10月にJAバンク基本方針のレベル格付に指定され、令和4年2月には高知県から業務改善命令を受けました。特別調査委員会から提言のあったガバナンス、コンプライアンス意識の問題を真摯に受け止め、統合後最大となる700人規模の人事異動を実施いたしました。今後も旧の組織ごとに存在する独自ルールの払拭に向けた対応を進め、組織の変革と役職員の意識改革に取り組んでまいります。

また、経営基盤の強化に向けては、新たな3か年計画を策定し各種施策に取り組んでまいりました。役員体制を77人から53人に変更したほか、拠点のスリム化や業務のシステム化を図り事業の見直しを進めてまいりました。加えて、将来に損失を繰り延べることのないよう減損会計を厳格に適用し、29億85百万円を減損損失として計上しております。

令和3年度の収支状況は長期化するマイナス金利や新型コロナウイルスの影響などによって全般的に事業収益が伸び悩む結果となり、16億9百万円の事業損失となりました。また、先述の減損損失の計上などにより、38億41百万円の当期損失金を計上するに至り、組合員の皆様に事業の成果をお示しできなかったことを重ねてお詫び申し上げます。

当組合の喫緊の課題は、『回復』であると強く認識しております。一刻も早い信頼回復と経営改善を実現させていくよう、再発防止策の徹底と3か年計画の着実な実践に取り組んでまいります。

引き続き当組合へのご支援とご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、組合員の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、あいさつといたします。